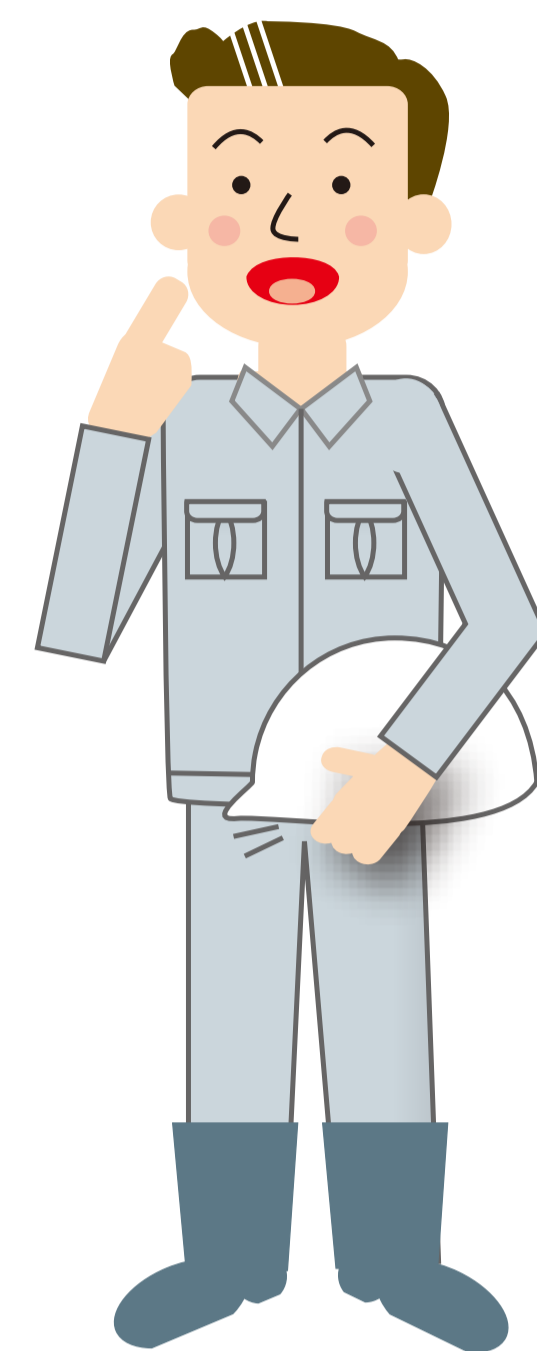


木のまちづくり JAS製材品 をおすすめします!

JAS
製材品って?



「木のまちづくり」は 低炭素社会実現に貢献

木材は、人と環境に優しい資材です。木材は地球温暖化の主因である大気中の二酸化炭素を固定しています。

平均的な木造住宅では約6 tの二酸化炭素が固定されており、「木のまち、いえづくり」は低炭素社会の実現に大きく貢献します。

木の家には柱、梁、間柱、土台、床、壁などに製材、集成材、合板、フローリングなど、いろいろな木材製品が使われます。



木のホールなどにさまざまなJAS製品が使われています。

JAS製材品を使うと安心 品質・性能が明確なJAS製品

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された製材品です。

この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場での品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様に提供されており、安心してお使いいただけます。



JAS製材品



JAS製品は、 木材の品質・性能が 明確にわかります。


目視等級区分による表示例

樹種名	スギ
 認証機関名	
構造材の種類	乙
等級	★ ★
寸法	mm mm m ○ × ○ × ○
乾燥処理	SD20
製造業者名	〇〇製材株式会社 製材工場

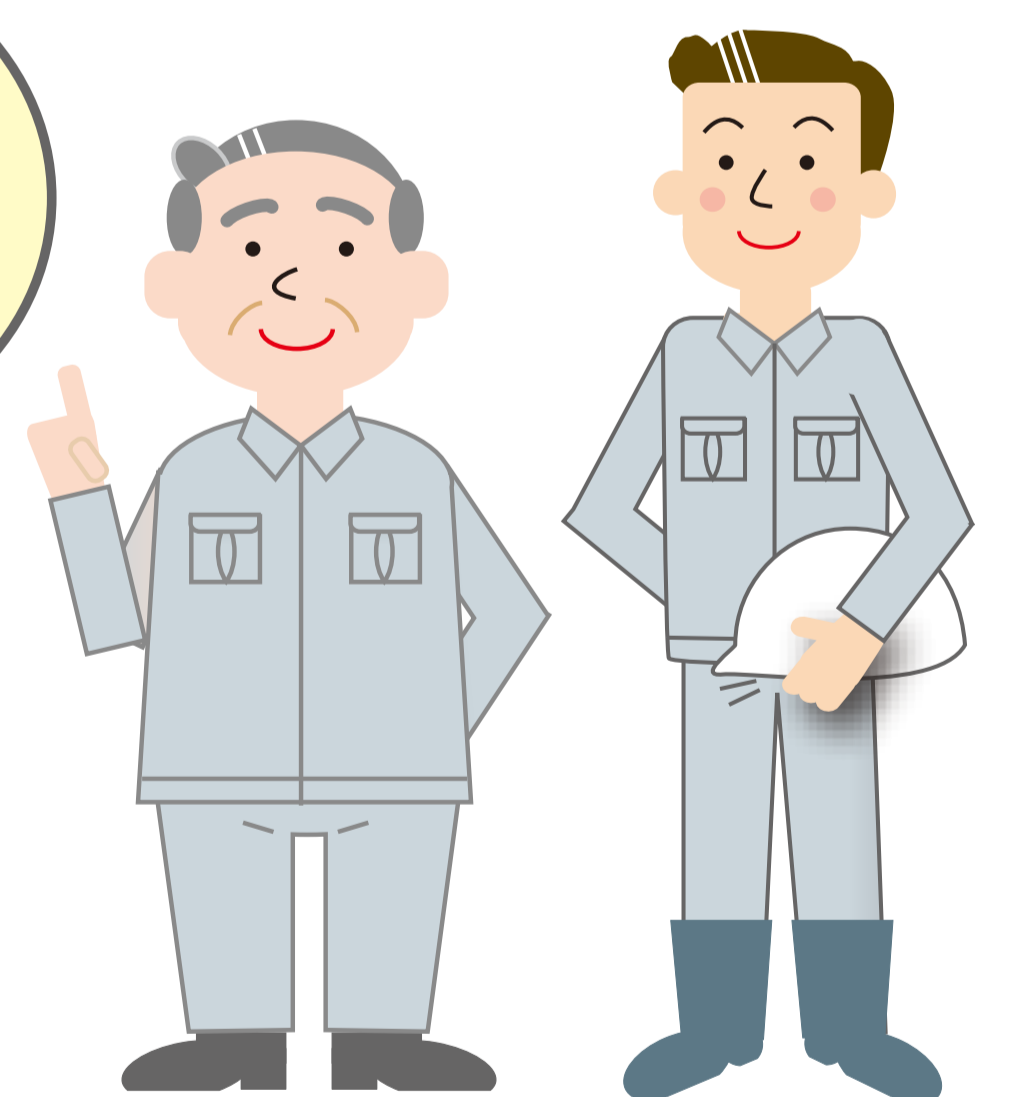
製材の品質・規格の概要

樹種	樹種名を表示	スギ、ヒノキ、カラマツなど木の種類を表示
製品の種類	目視等級区分構造用製材の用途による区分	梁（はり）、桁（けた）などの横に使用されるものは「甲Ⅱ」、柱など縦に使用されるものは「乙」と表示
等級	目視等級区分	目視で節、割れ、曲がりなどを評価して1級、2級、3級の3区分に表示（★★★、★★、★） （注）樹種、区分（甲Ⅰ、甲Ⅱ、乙）、等級ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定（構造計算に使われる強度）
	機械等級区分	機械等級区分装置（格付の場合は曲げ試験装置）で強度（ヤング係数）を測定し、等級区分（E50~150）を表示 （注）等級区分、樹種ごとに、国土交通省の告示で基準強度を規定（構造計算に使われる強度）
寸法	木材の木口の短辺、長辺、材長	正確な寸法を計測表示
乾燥	木材の乾燥度合（含水率）	含水率計で計測（格付けの場合は全乾試験）してSD（かな掛けした乾燥材） D（鋸挽きしたままの乾燥材（表面が未仕上） 15、20、25という含水率を表示

機械等級区分による表示例

 認証機関名	スギ	SD-15	E-90	〇〇製材株式会社 製材工場
	mm mm mm 120 × 120 × 3000			

品質が
分かるから
安心だね



JAS規格に関するお問い合わせは

<製材>

一般社団法人 全国木材検査・研究協会 03-6206-1255
 一般社団法人 北海道林産物検査会 011-251-7830

<合板 集成材 フローリング等>

公益財団法人 日本合板検査会 03-5776-2680

●発行

一般社団法人 全国木材組合連合会
 一般社団法人 全日本木材市場連盟
 一般社団法人 全国木材市売買方組合連盟

●問い合わせ先

一般社団法人全国木材組合連合会
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル6階
 TEL.03-3580-3215 FAX.03-3580-3226
 URL <http://www.zenmoku.jp> Eメール info@zenmoku.jp